

景況調査（第 113 回 企業経営者の景気見通し）

三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2026 年度上期実績見込み・2026 年度下期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内及び愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016 年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。

〔目次〕

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断（業種の景気）	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
①業況判断（四半期、自社の業況）について	24
②中東情勢悪化の影響について	25
③価格転嫁の状況について	27
④消費意識・行動の変化について	28
IV. 生の声	29

[調査の概要]

- 調査対象：
 - ①三重県内の事業所 1,056 先 (回答 452 先／回答率 42.8%)
 - ②愛知県内の事業所 318 先 (回答 95 先／回答率 29.9%)
 - (合計調査対象数 1,374 先 (回答 547 先／回答率 39.8%))
- 調査時期： 2026 年 7 月上旬～7 月下旬
- 調査対象期間：
 - 2026 年度上期 (26 年 4 月～9 月) 実績見込み (文中表記「今期」)
 - 2026 年度下期 (26 年 10 月～27 年 3 月) 見通し (文中表記「来期」)
- 調査方法： アンケート票送付及びW e b アンケート
- 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		452	100.0%	95	100.0%	547	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	44	9.7%	13	13.7%	57	10.4%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	408	90.3%	82	86.3%	490	89.6%
業種別	製造業	181	40.0%	42	44.2%	223	40.8%
	食料品(飲料含む)	35	7.7%	5	5.3%	40	7.3%
	繊維	2	0.4%	1	1.1%	3	0.5%
	印刷	4	0.9%	1	1.1%	5	0.9%
	石油・化学	11	2.4%	1	1.1%	12	2.2%
	窯業・土石	12	2.7%	0	0.0%	12	2.2%
	一般機器	36	8.0%	3	3.2%	39	7.1%
	電気機器	21	4.6%	2	2.1%	23	4.2%
	輸送用機器	24	5.3%	16	16.8%	40	7.3%
	その他製造	36	8.0%	13	13.7%	49	9.0%
	非製造業	247	54.6%	53	55.8%	300	54.8%
	建設	65	14.4%	17	17.9%	82	15.0%
	不動産	8	1.8%	6	6.3%	14	2.6%
	卸売	34	7.5%	9	9.5%	43	7.9%
	小売	33	7.3%	4	4.2%	37	6.8%
	運輸・倉庫	31	6.9%	7	7.4%	38	6.9%
	観光・宿泊	23	5.1%	0	0.0%	23	4.2%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	53	11.7%	10	10.5%	63	11.5%
	地場産業	24	5.3%	—	—	24	4.4%
	製材	7	1.5%	—	—	7	1.3%
	真珠養殖	0	0.0%	—	—	0	0.0%
	真珠加工販売	6	1.3%	—	—	6	1.1%
	鋳鉄・鋳物製造	2	0.4%	—	—	2	0.4%
	萬古焼製造	2	0.4%	—	—	2	0.4%
	萬古焼卸売	7	1.5%	—	—	7	1.3%
地域別	北勢	197	43.6%	—	—	197	36.0%
	中勢	121	26.8%	—	—	121	22.1%
	南勢	71	15.7%	—	—	71	13.0%
	伊賀	36	8.0%	—	—	36	6.6%
	東紀州	27	6.0%	—	—	27	4.9%
	愛知県	—	—	95	100.0%	95	17.4%

6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

【調査結果の要旨】

業況判断BSIは今期やや低下、来期はほぼ横ばいの見通し。

【概況】 三重県内の企業の業況判断 BSI（前年同期比、自社の属する業種の景気）は、2026 年度上期（以下、今期）は $\Delta 4.0$ となり、25 年度下期（以下、前期）（ $\Delta 1.8$ ）よりやや低下。26 年度下期（以下、来期）は $\Delta 4.2$ となりほぼ横ばいの見通しとなった。

今期を振り返ると、2 月末に始まった米国・イスラエルとイランの軍事衝突及びホルムズ海峡の一時事実上の封鎖（以下、中東情勢）に伴い、原油・ナフサ由来の原材料・製品・燃料の調達不安定化と価格高騰が影響し、（四半期別自社の業況判断 DI*¹と併せて分析すると）特に期の前半は業況感が低下したが、6 月の戦闘終結に向けた覚書締結を経て状況が徐々に改善に向かう中で期の後半の業況感は上向き、期を通じた業況判断 BSI は $\Delta 4.0$ と若干の悪化にとどまった。

中東情勢の影響の内容を中東情勢悪化当初（5 月調査）と比べると、原材料調達の不安定化（ $\Delta 6.8$ ポイント）や燃料調達の不安定化（ $\Delta 10.9$ ポイント）は改善に向かいつつある一方、原材料価格の上昇（+4.1 ポイント）を訴える企業は増えている。

業況判断 BSI を業種別にみると、製造業は今期 $\Delta 0.6$ で前期比横ばい、来期は+1.7 でプラス見通しとなったが、非製造業では今期 $\Delta 3.6$ 、来期 $\Delta 4.5$ となりやや慎重さがみられた。現時点で中東情勢の悪影響があるとした割合は、製造業より非製造業で5 月比上昇しており、サプライチェーンの川下に影響が移行していることがうかがえる。今期、好調さが目立つのは、輸送用機器製造（+12.5）や一般機器製造（+5.6）、観光・宿泊（+17.4）、サービス（+3.8）で、一般機器やサービスでは半導体向けや自動車向けで受注増、観光・宿泊では遷宮効果の声が目立った。

仕入価格の転嫁率は 62%と 1 月（65%）に届かなかったが 5 月（54%）より上昇し転嫁は進展。26 年 4 月以降の賃上げ率は 3.62%で 4 年連続の 3 %超。経営上の問題では「原材料高」（64.4%）が前期比+15.1 ポイントで 3 期ぶりの 1 位、「人件費の上昇」（50.6%）が 2 位。

設備投資実施企業の割合は、今期 47.4%と、資材等の調達の不安定化や価格高騰などを背景に見通し（52.6%）には至らなかったが前期（45.5%）をやや上回った。来期は 51.7%の見通し。

BSI		2025 年度 下期 (前期)	2026 年度 上期 (今期)	2026 年度 下期見通し (来期)
業況判断 BSI	今期マイナス幅やや拡大、来期はほぼ横ばい	$\Delta 1.8$	$\Delta 4.0$	$\Delta 4.2$
大・中堅企業	今期 2 期連続プラス、来期もプラス幅拡大	5.4	6.8	9.3
中小企業	今期マイナス幅やや拡大、来期はほぼ横ばい	$\Delta 2.8$	$\Delta 5.1$	$\Delta 5.6$
売上高 BSI	今期 9 期連続プラス、来期はプラス幅縮小	7.1	12.4	6.0
販売数量 BSI	今期 7 期ぶりプラス、来期はマイナス	$\Delta 1.1$	1.6	$\Delta 2.7$
在庫量 BSI	今期プラスに、来期わずかなプラス	0.0	3.3	0.5
販売価格 BSI	今期プラス幅大幅に拡大、来期も高水準	35.0	47.9	44.5
仕入価格 BSI	今期プラス幅大幅に拡大、来期も高水準	62.9	79.6	76.5
採算 BSI	今期・来期ともマイナスでほぼ横ばい	$\Delta 4.0$	$\Delta 5.1$	$\Delta 6.0$
資金繰り BSI	今期・来期ともマイナスでほぼ横ばい	$\Delta 3.5$	$\Delta 2.9$	$\Delta 4.0$
設備投資実施割合	今期は前期をやや上回る、来期は高水準	45.5%	47.4%	51.7%
雇用過不足感* ²	不足感は上昇し依然高水準	51.8	53.2	—
業況判断 DI（自社・四半期）	26 年 4-6 月（16.5）→7-9 月（21.5）→10-12 月（26.2）→27 年 1-3 月（22.9）			

*¹ 業況判断 DI＝（自社の収益を中心とした業況が）「良い」割合－「悪い」割合 *² 過不足感＝「不足＋やや不足」の割合－「過剰＋やや過剰」の割合

1. 業況判断 （自社の属する業種の景気）

業況判断BSIは今期やや低下、来期はほぼ横ばいの見通し。

◆全企業

業況判断BSI（前年同期比、変化方向）は、2026年度上期（以下、今期）は $\Delta 4.0$ となり、25年度下期（以下、前期）（ $\Delta 1.8$ ）よりやや低下した。前回調査時の今期見通し（ $\Delta 5.5$ ）は上回った。26年度下期（以下、来期）は $\Delta 4.2$ となりほぼ横ばいの見通し。

◆業種別 …製造業は今期わずかなマイナスで横ばい。来期はプラスに転じる見通し。

非製造業は今期2期ぶりのマイナス。来期はほぼ横ばいの見通し。

※ 今期BSIのプラス幅の大きい業種順に記載。文中の売上高、採算、販売数量、仕入価格はBSIを指す。

◇製造業 …今期（ $\Delta 0.6$ ）横ばい、前回調査時の見通し上回る、来期（ $+1.7$ ）はプラスに。

- 【輸送用機器】 今期5期ぶりプラス。来期もプラス。売上高は今期大幅プラス、来期も2桁プラス。米関税の影響緩和、価格転嫁進展、中東情勢の落ち着き。
- 【一般機器】 今期4期ぶりのプラス。来期もプラス。売上高は今期プラスに転じ、来期も上昇。半導体製造装置向け部品、工具、自動車向け、自動機械など堅調。
- 【食料品】 今期2期連続プラスもプラス幅縮小。来期は2桁プラス。売上高・採算ともプラス。価格転嫁の進展、遷宮効果。
- 【その他製造】 今期9期ぶりにマイナスを脱し0.0に改善。来期はプラスに。
- 【繊維】 今期2期連続の0.0、来期も0.0で横ばい。
- 【電気機器】 今期は0.0。来期はマイナスに。販売数量が今期プラスも来期マイナスに。電子回路実装基板、電子部品、車載向けなどでは受注増。
- 【石油・化学】 今期11期ぶりのマイナス。来期は0.0に改善。売上高は今期2桁プラス、来期もプラス。原材料高で転嫁率低位。半導体材料、フィルムなどは堅調。
- 【印刷】 今期3期ぶりのマイナス、来期は横ばい。
- 【窯業・土石】 今期2桁マイナス。来期はマイナス幅縮小。販売数量が2桁マイナス。

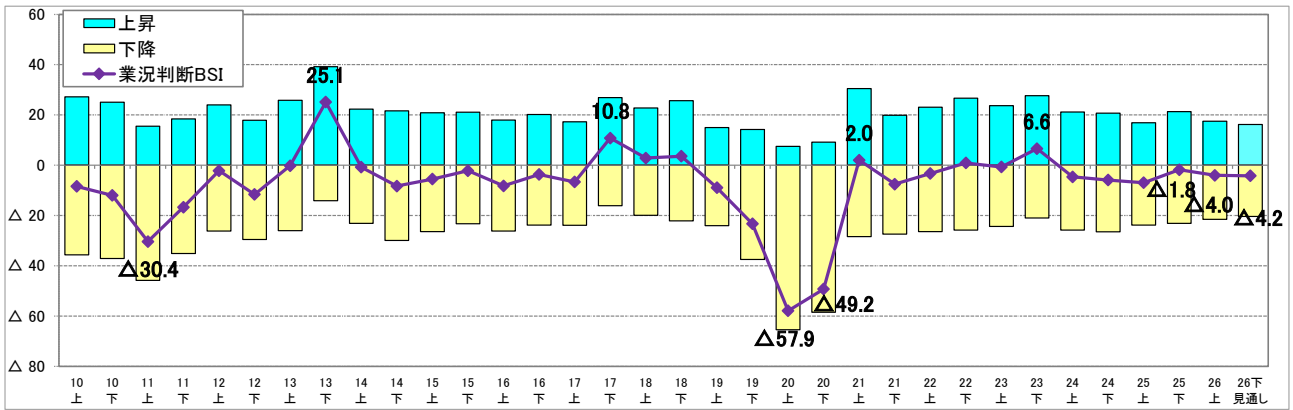
◇非製造業 …今期（ $\Delta 3.6$ ）は2期ぶりのマイナス。来期（ $\Delta 4.5$ ）はほぼ横ばい。

- 【観光・宿泊】 今期2期連続の2桁プラス、来期もプラス。プラス幅は縮小。売上高は大幅プラスも採算は0.0。式年遷宮関連祭事等が好影響。一部インバウンドも。
- 【サービス】 今期4期連続のプラス、来期は0.0。売上高は今期・来期とも2桁プラス。飲食店、人材派遣（自動車、半導体向け）、リース、情報通信など好調。
- 【小売】 今期5期連続のマイナス、来期はマイナス幅やや拡大。売上高は今期プラス、来期はマイナス。
- 【運輸・倉庫】 今期6期ぶりのマイナスに、来期は再びプラスに。来期は仕入価格が改善し採算が2桁プラスに。燃料価格やこん包材などの高騰が影響。
- 【卸売】 今期2期ぶりのマイナス、来期は2桁マイナス。
- 【建設】 今期4期連続のマイナスで、来期もマイナス。採算がマイナス。
- 【不動産】 今期2期ぶりのマイナス、来期は0.0に改善。

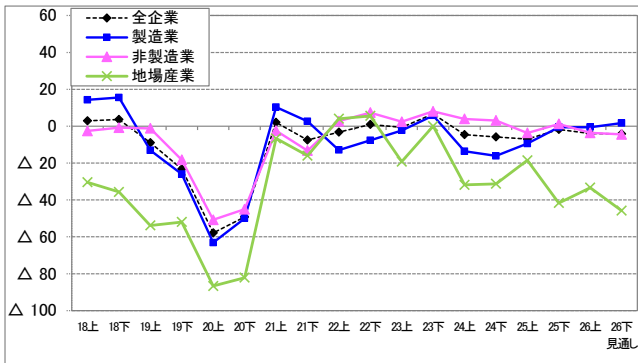
◇地場産業 …今期（ $\Delta 33.3$ ）マイナス幅縮小、来期（ $\Delta 45.8$ ）は拡大。

I. 三重県

■業況判断BSIの推移



■業況判断BSI（業種3区分別）



■業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		(前回調査時点)												
		22上	22下	23上	23下	24上	24下	25上	25下	26上 (見通し)	26上	26下 (見通し)		
全企業		△ 3.3	0.9	△ 0.7	6.6	△ 4.6	△ 5.9	△ 7.0	△ 1.8	△ 5.5	△ 4.0	△ 4.2		
規模別	大・中堅企業	0.0	△ 3.8	△ 3.6	24.5	30.9	13.1	0.0	5.4	5.4	6.8	9.3		
	中小企業	△ 3.7	1.6	△ 0.3	4.3	△ 9.5	△ 8.8	△ 8.0	△ 2.8	△ 7.1	△ 5.1	△ 5.6		
業種別	製造業	△ 12.9	△ 7.7	△ 2.3	5.8	△ 13.6	△ 16.1	△ 9.5	△ 0.6	△ 6.8	△ 0.6	1.7		
	食料品	△ 4.0	3.8	19.0	20.0	4.5	△ 8.3	△ 13.8	33.3	△ 7.4	2.9	14.3		
	繊維	△ 75.0	△ 50.0	△ 20.0	△ 33.3	△ 40.0	△ 25.0	△ 40.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	印刷	16.7	△ 50.0	0.0	16.7	△ 16.7	△ 42.9	14.3	20.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 25.0		
	石油・化学	25.0	20.0	23.1	8.3	12.5	23.5	17.6	13.3	13.3	△ 9.1	0.0		
	窯業・土石	△ 21.4	△ 18.2	12.5	6.7	△ 25.0	△ 6.7	△ 11.8	△ 33.3	△ 5.6	△ 41.7	△ 8.3		
	一般機器	△ 7.1	△ 14.7	△ 6.1	0.0	6.9	△ 22.6	△ 16.7	△ 11.5	3.8	5.6	2.8		
	電気機器	0.0	0.0	△ 26.1	△ 5.0	△ 38.1	△ 30.4	4.0	12.5	△ 33.3	0.0	△ 19.0		
	輸送用機器	△ 42.9	△ 16.7	△ 4.0	26.7	△ 15.6	△ 12.9	△ 12.5	△ 17.9	△ 17.9	12.5	4.2		
	その他製造	△ 15.4	△ 2.9	△ 10.3	△ 11.8	△ 31.0	△ 26.5	△ 18.2	△ 6.5	6.5	0.0	5.6		
	大・中堅企業	△ 11.5	△ 3.8	8.3	15.4	32.0	△ 3.6	△ 7.1	△ 12.5	△ 4.2	△ 10.5	0.0		
	中小企業	△ 13.2	△ 8.3	△ 4.0	4.1	△ 21.2	△ 18.4	△ 9.8	1.3	△ 7.2	0.6	1.9		
	非製造業	2.7	7.4	2.4	8.0	3.9	3.1	△ 3.7	1.2	△ 1.2	△ 3.6	△ 4.5		
		建設	△ 7.7	△ 6.1	△ 15.4	8.0	9.5	△ 6.1	△ 5.2	△ 18.5	△ 12.3	△ 12.3	△ 9.2	
		不動産	△ 11.1	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	△ 7.1	12.5	△ 12.5	△ 12.5	0.0	
		卸売	0.0	7.1	△ 6.9	7.4	△ 5.6	0.0	△ 9.7	4.0	△ 3.8	△ 8.8	△ 17.6	
		小売	△ 17.1	0.0	32.5	0.0	△ 9.5	△ 7.5	△ 2.4	△ 2.2	△ 8.9	△ 3.0	△ 6.3	
		運輸・倉庫	△ 23.3	0.0	△ 15.6	25.9	16.7	6.9	3.6	12.9	3.2	△ 6.5	3.2	
		観光・宿泊	64.3	88.2	50.0	23.5	14.3	34.6	△ 20.8	26.1	13.0	17.4	8.7	
		サービス	17.3	8.9	0.0	2.0	0.0	7.8	6.1	7.5	13.2	3.8	0.0	
		大・中堅企業	9.7	△ 3.8	△ 12.9	34.8	30.0	27.3	6.5	18.8	12.5	20.0	16.7	
		中小企業	1.8	8.8	4.6	5.0	0.4	△ 0.4	△ 5.1	△ 1.4	△ 3.2	△ 6.3	△ 6.8	
		地場産業	4.0	5.6	△ 19.2	0.0	△ 31.8	△ 31.3	△ 18.5	△ 41.7	△ 41.7	△ 33.3	△ 45.8	
			製材	12.5	△ 28.6	△ 75.0	△ 42.9	△ 44.4	△ 33.3	△ 50.0	△ 37.5	△ 50.0	△ 42.9	△ 71.4
			真珠養殖	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
			真珠加工販売	△ 25.0	25.0	25.0	20.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 33.3	△ 75.0	△ 100.0	△ 16.7	△ 33.3
	鋳鉄鋳物		△ 100.0	—	△ 50.0	50.0	△ 66.7	50.0	0.0	△ 50.0	△ 25.0	0.0	0.0	
	萬古焼製造		0.0	0.0	0.0	△ 66.7	0.0	—	△ 33.3	△ 33.3	0.0	50.0	0.0	
	萬古焼卸売		14.3	25.0	11.1	25.0	0.0	△ 33.3	28.6	△ 20.0	△ 20.0	△ 71.4	△ 57.1	

※地場産業と繊維、印刷、不動産はサンプル数が少ないため指数の振れに注意。—は回答がなかったことを示す。

◆企業規模別 …大・中堅企業は、今期２期連続のプラスで、来期もプラス。

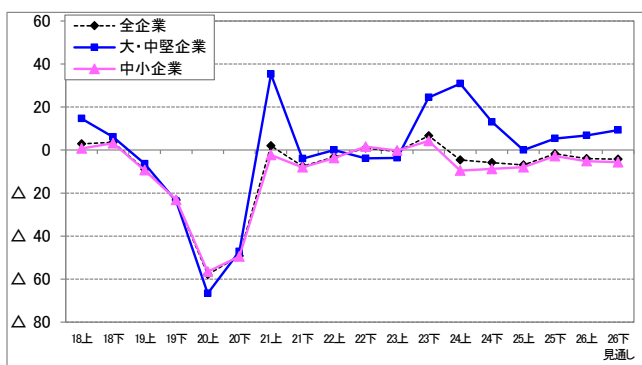
中小企業は、今期マイナス幅やや拡大、来期はほぼ横ばい。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、大・中堅企業は、今期２期連続のプラスで、来期はプラス幅やや拡大の見通し。中小企業は、今期５期連続のマイナス、来期はほぼ横ばいの見通し。

製造業では、大・中堅企業は今期２桁マイナスで４期連続のマイナス、来期は 0.0 に改善の見通し。中小企業は今期わずかながらも２期連続のプラス、来期もプラスの見通し。

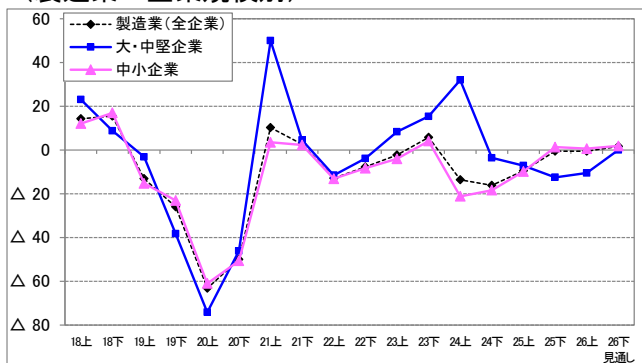
非製造業では、大・中堅企業は今期６期連続のプラス、来期も２桁プラス。中小企業は今期４期連続のマイナス、来期はほぼ横ばいの見通し。

■業況判断 B S I（企業規模別）

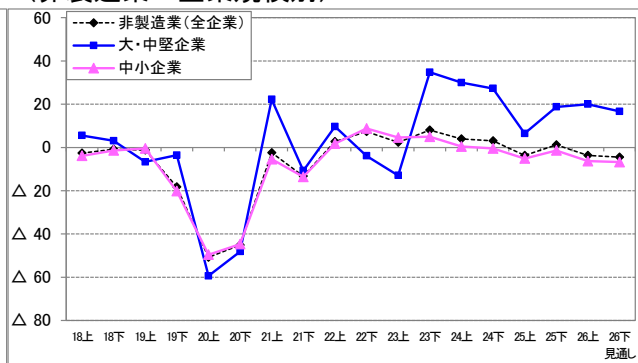


※左図のデータには、地場産業を含む

（製造業・企業規模別）



（非製造業・企業規模別）



◆地域別 …伊賀は今期プラスに転じ来期もプラス。中勢・南勢は今期マイナスに、来期も。

業況判断 BSI を地域別にみると、伊賀地域は今期２期ぶりのプラスで、来期もプラスの見通し。北勢地域は今期５期連続のマイナスもマイナス幅縮小、来期はほぼ横ばい。中勢地域は今期２期ぶりのマイナスで、来期はマイナス幅拡大の見通し。南勢地域は今期２期ぶりのマイナス、来期は横ばい。東紀州地域は、今期マイナス幅が拡大も、来期はプラスに転じる見通し。

■業況判断 B S I（地域別）の推移

	22上	22下	23上	23下	24上	24下	25上	25下	26上 (見通し)	26下 (見通し)
全地域	△ 3.3	0.9	△ 0.7	6.6	△ 4.6	△ 5.9	△ 7.0	△ 1.8	△ 5.5	△ 4.0
北勢地域	△ 0.5	2.3	5.1	6.7	△ 0.5	△ 5.1	△ 1.5	△ 2.7	△ 5.3	△ 1.0
中勢地域	△ 7.0	△ 1.6	△ 3.9	11.1	0.8	△ 2.4	△ 8.7	0.7	△ 9.5	△ 4.1
南勢地域	16.2	23.4	6.3	12.9	△ 1.7	△ 4.3	△ 24.3	3.1	0.0	△ 7.0
伊賀地域	△ 28.2	△ 7.9	△ 10.8	△ 8.6	△ 23.8	△ 9.3	2.8	△ 2.4	2.4	8.3
東紀州地域	△ 20.0	△ 34.5	△ 38.1	△ 15.0	△ 43.5	△ 28.0	△ 4.5	△ 25.0	△ 15.0	△ 33.3